

ひよこ組 5月目標:一人ひとりの生活リズムを大切にしながら、安心して過ごせるようにする。

ひよこ組での生活がスタートして、一か月が経ちました。

登園すると保護者の方と離れるのが寂しくて泣いていた子ども達も少しずつ園での生活に馴染み、今では、すぐお気に入りの玩具に向かう姿も見られるようになりました。今月からは、新しいお友達も増えます。友達の関わりの中から、色々な刺激を受けていって欲しいと思います。

<鯉のぼり製作>

鯉のぼり製作をしました。シールを鯉のぼりの鱗に見立てて貼りました。

シールが手に付くのが不思議で戸惑う姿もありましたが、少し慣れてくると夢中でシールを触る姿がありました。それぞれ感じ方は違いますが、シール貼りを楽しむ事ができました。

りす組 5月目標: ・園での生活リズムに馴染み、落ち着いて過ごせるようにする。

・安心して過ごせる保育者と一緒に遊びながら、信頼関係を築き、
戸外での遊びを存分に楽しむ。

新年度が始まって早や一か月が経ちました。進級児、新入児とも新しい環境に少しずつ馴染んできて笑顔で過ごせる日が増えてきました。

りす組では、ゆったりとした雰囲気の中で過ごせるように活動時には二つのグループに分かれて過ごしています。六地藏方面にお散歩に出かけ、タンポポを摘んだり、綿毛を見つけて「ふ～！！」と保育士と一緒に吹いて楽しんでいます。これからお天気のいい日にはいろんなところへ行き、虫などの生き物や植物に触れる機会を作り、子どもたちに様々な発見をしていってほしいと思います。

お部屋では、コーナーに入り子どもたち自身で好きな遊びを選んで遊ぶ姿が見られます。そして時には上手く言葉で伝えることができず玩具の

取り合いになってしまう姿もあります。そのような時には“ノンタン ブランコのせて”の絵本の一節に登場するフレーズ「1、2、3…10。おまけのおまけのきしゃぽぽ、ぽーとなったらかわりましょ。」と歌って楽しく待てる姿もあります。子どもたちの思いを受け止め、「貸して」「ちょうだい」など言葉で伝えられるように丁寧に関わっていきたいと思います。

<こいのぼり製作>

昨日、5月5日に向けて鯉のぼり製作をしました。絵の具を指先につけて画用紙にスタンプをして楽しみました。子どもたちは保育士がするのを興味津々で見つめる姿がありました。自分の番が来ると指の先についた絵の具の感触を不思議そうにしている子もいましたが、画用紙にいろんな色の模様が出来ていくことを楽しむ姿がありました。出来上がったこいのぼりはお部屋に飾りますので、また送り迎えの時に見てあげてください。



5月の目標

- お散歩に出掛け自然に触れ、春の季節を感じる
- 友達と関わって遊ぶ楽しさを感じる

うさぎ組がスタートして1ヶ月が経ちました。お家の人と離れて初めての集団生活へと環境が変わり、不安でいっぱいだった新入園児も少しずつ笑顔がみられ、好きな遊びを見つけたり、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるようになってきました。

外遊びでは園庭で遊んだりお散歩に出掛けています。園庭では、お兄ちゃんお姉ちゃんと一緒にボール遊びをしたり、遊具で遊んだり、伸び伸びと体を動かしています。異年齢児の中で遊ぶ事で、お兄ちゃんお姉ちゃんのする事を見て刺激を受けたり、優しくしてもらったりと微笑ましい関わりが見られます。

又、お散歩ではたんぽぽの綿毛を飛ばしたり、草花を摘んだり、春の心地良さを感じながら、自然に触れる事を楽しんでいます。自然に恵まれた環境の中で、これからもどんどん戸外に出掛け、様々な発見をしていきたいと思えます。

お部屋の製作コーナーでは、子どもの日に向けてこいのぼり製作をしました。画用紙にクレヨンでお絵描きをし、その上から絵の具を塗ってはじき絵をしてみました。お天気の良い日はイーゼルを使って、園庭で描画をし、新入園児は初めての描画(絵の具)に最初は少し戸惑っているようでした。でも在園児が楽しそうに描いているのを見てしばらくすると、自分から描き始める姿が見られました。

色々な事が初めての経験となる新入園児ですが、在園児のする事を見て沢山の事を吸収し“初めの一步”を踏み出しています。これからも色々な事に挑戦し、出来るようになった喜びを保育士も共感していきたいと思えます。



5月の目標

- ・新しい生活の流れに慣れ、喜んで登園する。
- ・戸外で体を動かして遊ぶことを楽しむ。

新年度が始まり、一か月が経ちました。

4月当初は、新入の子も含め新しい環境ということで、戸惑ったり、不安そうにする子の姿がありました。そんな時に活躍してくれたのが年長組の子ども達です。部屋を移動する時には優しく手をひいてくれたり、身辺整理のお手伝いをしてくれたり、給食を食べさせてくれたりと、つい最近年長組になったばかりの子ども達がしっかりとお兄さん、お姉さんぶりを発揮してくれています。そのおかげもあり、年少、年中児も徐々に新しい環境に馴染み友達とも打ち解け始めたように思います。また年少児が、年長児を慕って関わる姿もあり、異年齢保育ならではの姿が毎日のように見られ、私たちも嬉しく思います。

先日、年長の女の子と二人で話していた時に「いつも年少さんの面倒を見てくれてありがとうね。大変やろ？」と聞くと、その子は「全然大変じゃないよ！私、〇〇くん好きやもん！」と笑顔で答えてくれました。私はいろんな事に気を使ってくれていることに負担を感じている子もいるのではないかと考えていました。しかしその子の答えは私の予想とは全く違い、その子の優しさと年下の子を思いやる気持ちに感動しました。

この年長の女の子の言葉は、今まで異年齢保育の中でいろんな実体験を繰り返す中で、お兄ちゃん、お姉ちゃんに優しく接してもらったり、支えてもらったりした経験があったからこそだと思います。年少、年中の子ども達も異年齢の中でのいろんな実体験が、1年後、2年後に繋がってくれたらと思っています。



- 5月の目標
- ・園生活に必要な生活習慣やルールを知る
 - ・戸外で先生や友だちと一緒に身近な動植物に触れる

くぬぎ組での新しい生活がスタートしました。はじめは不安で泣いていた子ども達も、園での生活の流れを知ること、少しずつ笑顔で遊ぶ姿が見られるようになりました。

特に園庭に出た子ども達はいきいきとし、砂場で山を作って遊んだり、桜の花笛を吹いたり、ロンドンバスで「どこにいきますか？」「とうちゃく！おりてください」とバスの運転手さんごっこをして、それぞれの好きな遊びを楽しむ姿がありました。園庭にはダンゴムシ、アリ、ミミズの姿が見られるようになり、虫を見つけると「おったよ！」と友達を集め、みんなで捕まえて家を作りじっと観察する姿もありました。

また、お部屋のグループを決めたことで、年長児が年少児のことを気にかけてくれるようになり、トイレに手を繋いで行く姿や、帰りの身辺整理を一緒にする姿が見られるようになってきました。その姿を見ている年中児も年少児に優しく声をかける姿がありとても嬉しく思いました。新しい生活に戸惑っていた子ども達に笑顔が見られるようになったのは年長児の力が大きく、子どもの力はすごいな！とあらためて感じました。

こういった異年齢の関わりを大切にしながら、5月は春の草花や、暖かくなり動き出した虫たちと触れ合えるように戸外でたくさん遊びたいと思います。



さくら組 5月号

平塚 未来
安田 拓生

5月の目標

- ・園生活の流れがわかり、安心して過ごす中で、
できることは自分でしようとする。
- ・好きな遊びを見つけて、保育者や友だちと楽しむ。

さくら組で生活しはじめて、1カ月が経ちました。子ども達は新しい環境にも少しずつ馴染んできている様子で、毎日元気いっぱい過ごしています。

最初の頃は不安そうな表情も見られましたが、だんだん表情も明るくなり、お友だちと一緒に楽しそうに遊ぶ姿も増えてきています。

園庭では、砂遊びや遊具、鉄棒やサッカーなどくぬぎ組やとちのき組の子ども達とも仲良く遊んでいます。

西の広場でさくら組だけで遊ぶときには、ブランコや虫探しなどをして楽しみ、年長・年中・年少の子たちが一緒に遊ぶ様子も見られます。ブランコで遊ぶ際、年長児がそっと年少児を押ししてくれる姿や、お片づけのお手伝いを進んでしてくれる姿があります。

また、年長児が年中・年少児に優しくしてくれたり、年少や年中児が年長児のいい姿を見て真似をしたりと、あたたかい雰囲気の中で生活する中で一人ひとりのいいところを見つけ、どんどん褒めて成長に繋げていきたいと思います。

